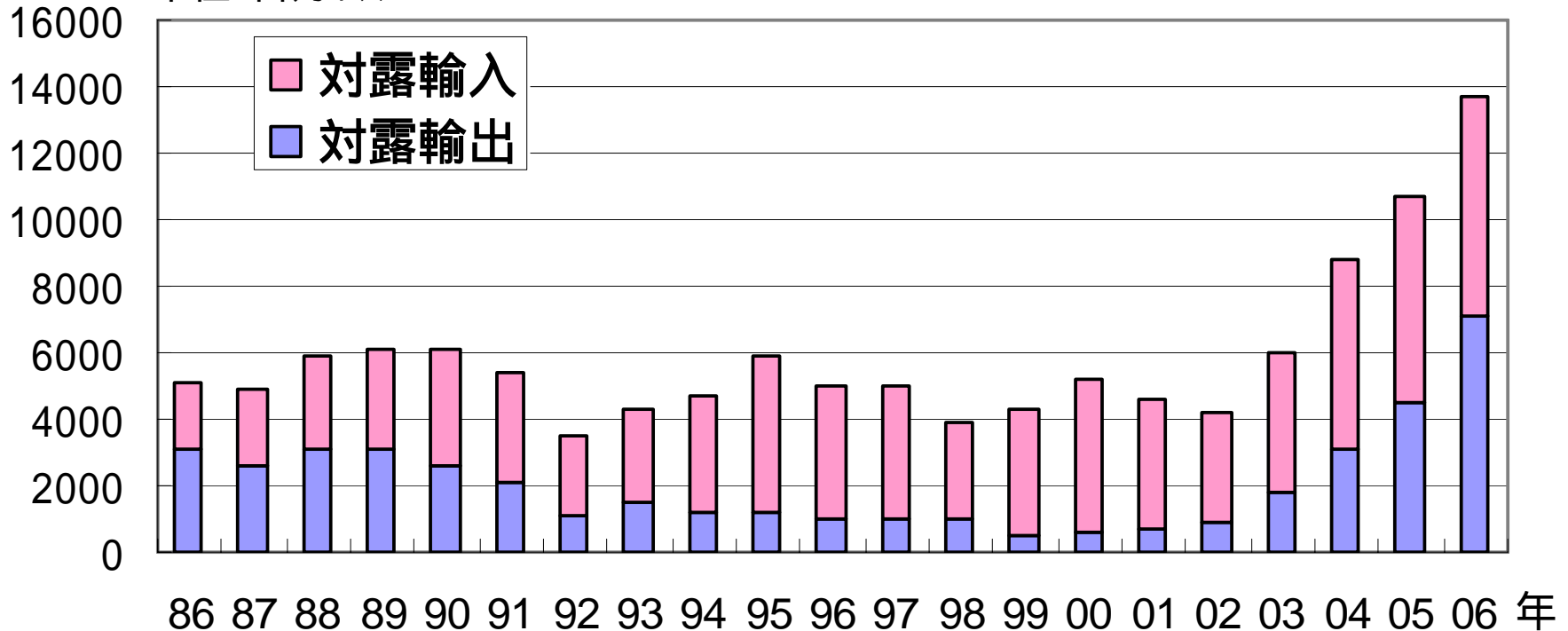


日露経済関係の動向

日露貿易額は新生ロシア発足以降過去最高を更新し、04年は88億ドル、05年は107億ドル、06年は137億ドルを記録。
相対的には対露輸出の伸びが大きい。

日本とロシアの貿易高の推移

単位:百万ドル



日本企業のロシア(経済特区)進出

トヨタ自動車のサンクトペテルブルク進出

会社名: TOYOTA MOTOR MANUFACTURING RUSSIA

所在地: サンクトペテルブルク市 シュシャリ地区

会社設立: 2005年6月

生産能力: 5万台/年 (当面2万台/年)

生産開始: 2007年12月(予定)

投資額: 約40億ルーブル(約150億円)

日産自動車のサンクトペテルブルク進出

所在地: サンクトペテルブルク市

生産能力: 最大5万台/年

生産開始: 2009年(予定)

投資額: 約2億ドル(約220億円)

従業員数: 750人(フル稼働時)

スズキ自動車のサンクトペテルブルク進出

所在地: サンクトペテルブルク市

生産開始: 2010年(予定)

投資額: 約1億1,500万ドル(約130億円)

2007年5月中旬に自動車工場建設に関する議定書をロシア経済発展貿易省と署名。

いすゞ自動車のエラブガ進出

会社名: セベルスタリアフトいすゞ株式会社(セベルスタリアフト社(SSA)、双日株式会社との3社合弁)

所在地: タタルスタン共和国 エラブガ市

生産能力: 当面5千台/年(将来的には3万台超/年を目指す)

会社設立: 2007年8月(予定)

資本金: 350百万ルーブル(約16億円)

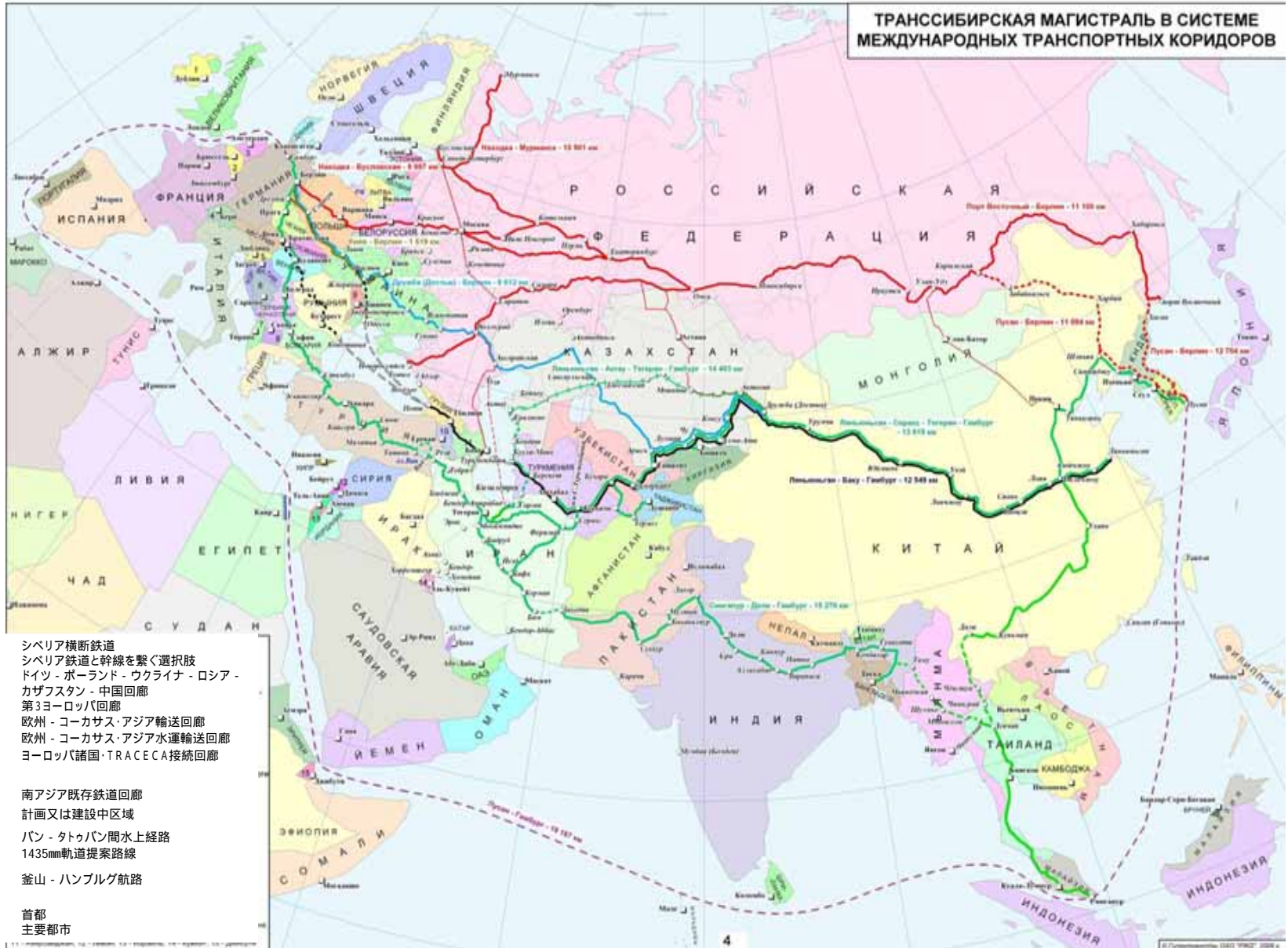
株主構成: SSA 66%、いすゞ 29%、双日 5%

主な事業: 商業車の輸入、生産(SKD組立て)、及び販売。

今後、エラブガ工場にトラック組立ての生産拠点を移し、08年6月からのエラブガ工場の操業開始に合わせて、新会社の本格的な営業を開始予定



国際交通回廊



国番号: 1 - アイルランド; 2 - ベルギー; 3 - オランダ; 4 - スイス; 5 - スロベニア; 6 - ボスニア・ヘルツェゴビナ; 7 - アルバニア; 8 - マケドニア; 9 - モルドバ; 10 - アルメニア; 11 - アゼルバイジャン; 12 - レバノン; 13 - イスラエル; 14 - クウェート; 15 - ベイルート

ユーラシア産業投資ブリッジ構想図



広義のシベリア鉄道の路線(赤)と、バイカル アムール鉄道(バム鉄道、緑)

ロシア鉄道の課題

- ❖ 輸送コスト
- ❖ 複雑な税関での手続き
- ❖ 振動、極寒等による破損の危険性
- ❖ 空コンテナの絶対数不足
- ❖ 所要日数と運行の遅れ

ユーラシア産業投資ブリッジ構想

ロシアの物流インフラ整備及びエネルギー資源開発に対し、技術、金銭面等の協力をすることにより、日露間の輸出入、双方向の物流、及び、ロシアへの日本からの投資を促進。



「2030年までの鉄道発展戦略」 2007年、ロシア運輸省で作成

総額約13兆ルーブル(約65兆円)の国家プロジェクト

技術革新: 既存車両の近代化、新造車両の購入、既存路線の電化・交通量拡大

鉄道網の拡大: 新路線建設、新造車両の購入、高速鉄道化



日露双方に協力による利益大

日本企業への裨益

高い技術を有する日本鉄道関連企業のロシア鉄道市場参入のビジネスチャンス
ロシア鉄道を利用した日露貿易の増加

- ・輸出(日 露): 自動車部品、建設機械、鋼管、家電製品等
- ・輸入(露 日): 石油、石油製品、木材、金属等

沿線に多く存在する特別経済区(以下、特区)、資源開発地域への日本の対口投資を促進
ロシア鉄道を利用した輸送日数短縮

ウラジオストク モスクワ間 現行約2週間 約1週間
自動車部品輸送の課題である輸送衝撃の緩和

鉄道分野における日露協力の可能性

技術供与

車両、レール、鉄道輸送インフラ機器等の供給

ロシアの鉄道網を利用した旅客及び貨物輸送

日本から輸入する者に対する融資